

じゃらん 旅先で楽しみたい横丁ランキング

リクルートが発行する旅行情報誌「じゃらん」は、食べ歩きや飲み歩きが楽しめる「横丁」に関する調査をこのほど行った。「食べ歩き、飲み歩きが楽しめる横丁」の中から、旅先で行ってみたいと思う箇所を三つまで選んでもらったところ、1位に三重県のおかげ横丁が輝いた。ここでは回答が多かったベスト10を紹介する。

1位 おかげ横丁

(三重県)



伊勢神宮内宮門町の真ん中にあり、江戸から明治期の伊勢路の建築物が移築・再現された、まるで江戸時代にタイムスリップしたような景観が広がる。約4000坪の敷地内にはおよそ50店舗が並び、伊勢志摩ならではの絶品グルメやショッピングが堪能できる。

3位 やすらぎ湯の坪横丁

(大分県)



由布院温泉にある、レトロな情緒あふれるスポット。プリンをまるごと挟んだ「ぶりんどら」や豆腐を使ったかりんとう、樺天ぷらといった地元グルメも充実。ガラスや陶器などの伝統工芸品、「ドクター・キッスフィッシュ」を使ったフィッシュスパといったバラエティ豊かな12店舗が軒を連ねている。

5位 なにわ食いしんぼ横丁

(大阪府)



大阪万博（1970年）を目にした「大阪が最も元気に光り輝いていた時代」をテーマに大阪の街並みを再現した横丁。牛ホルモンをカリカリに揚げた油かすが乗ったかすうどん、お好み焼き、イカ焼きといった関西を代表する「なにわグルメ」をメインに約15軒が集まるフードテーマパーク。

7位 八戸屋台村みろく横丁

(青森県)



東北新幹線八戸駅開業に合わせ、街の活性化のために誕生した横丁。2024年4月にリニューアルし、全長約80mの路地でバリエーションに富んだ26店舗が営業している。青森産にんにくバルや洋食店、ワイン屋台をはじめ、イカや八戸前沖サバ、どんこ料理、地元のB級グルメとして知られている「せんべい汁」など郷土料理が味わえる。

9位 青葉横丁

(静岡県)



昭和の雰囲気が高い、静岡おでんの店がズラリ18店並ぶ「おでん街」。静岡おでんは毎日煮込んでつぎ足す、真っ黒なだし汁が特徴で、イワシのすり身を使った練り物や牛すじ、昆布といった具材のうま味をたっぷり吸収していて絶品。店舗ごとに味わいが異なるので、食べ比べてみるのもおすすめ。

2位 函館ひかりの屋台 大門横丁

(北海道)



JR函館駅から徒歩5分の好立地にあり、26店舗が並ぶ屋台村。2024年秋には19周年を迎え、地元民から観光客まで連日多くの人でにぎわっている。北海道名物のジンギスカン専門店や北海道産銘柄鶏である知床鶏を使ったザンギの店のほか、和食居酒屋からイタリアン、フレンチなど多種多様なグルメが楽しめる。

4位 天文館かごしま横丁

(鹿児島県)



天文館公園のすぐそばにある横丁。「地元の方々から末永く愛される場所」を目指して2021年にリニューアルオープンした。鹿児島黒牛をB・B・Qスタイルで楽しめる店から、オリジナルブランドカキ「マセガキ」を堪能できるカキ専門店、黒さつま鶏を炭火焼きで食べられる焼き鳥店など、選りすぐりの7店舗からなる進化系横丁。

6位 新宿西口思い出横丁

(東京都)



戦後の焼け野原にできた露天商のマーケットをルーツとする、ノスタルジックな光景も魅力の飲食街。約6300坪の敷地にチケッتونップを含めた80店舗が集まり、狭い路地

7位 でこなる横丁

(岐阜県)



地元グルメをお値打ち価格で楽しめ、射的場などもそろそろ高山の夜の名所。「でこなる」とは高山の方言で「大きくなる」という意味。訪れる人たちの夢が大きくなることを願って名付けられたそう。岐阜県産のブランド牛・飛騨牛の焼き肉店、高山ラーメンの店のほか、和洋さまざまな19店舗が集まっている。

10位 法善寺横丁

(大阪府)



ミナミの繁華街にありながら、静かなななな情緒を漂わせている。長さ80m、幅3mの2本の路地が東西に伸びる横丁内には、老舗の割烹やバー、お好み焼き、串カツ店などがズラリ。元々この地は浄土宗天龍山法善寺の境内で、参拝客相手の露店がいつしか横丁に発展したもの。

調査概要

調査は3月19日～21日、47都道府県在住の20～50代にインターネットで実施。「じゃらん掲載情報を中心にピックアップした食べ歩き・飲み歩きが楽しめる横丁」の中から、旅先で行ってみたいと思う箇所を三つまで選択してもらった。有効回答数1034人。